

+

ほやほや

福井赤十字病院

理念 人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針 ◎患者様の人権と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を遂行します。

◎医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します。

◎地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療の提供に努めます。

新年のご挨拶

2005年1月吉日



院長 野口正人

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様には、ご家族お揃いでご健勝にて新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

さて昨年は福井豪雨・美浜原発事故を始めとする多くの災害が福井のみならず全国を襲い、多難な1年でした。被災されました方々に対しましては、改めてお見舞いを申し上げますと共に、本年は年頭にあたり災害や事故の無い平穏な1年であることを心より祈りたいと思います。

また、昨年は新病院が開院しましたので、「クリーンで快適な療養環境」の中で患者さんに医療を提供できるようになりました。開院当初の混乱も昨秋より落ち着いてきましたので、今年は病院の目標を、

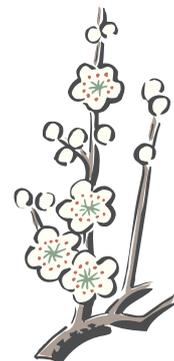
①地域のニーズに応える地域医療の支援病院として更に成長する、

②患者さんを中心にした医療を行う象徴として「患者情報室」を新設する、

と定め、職員一丸となって新病院2年目の新たな礎を作り上げて行きたいと考えております。その結果、地域住民の皆様の生活の質（QOL）が更に向上すればこの上ない喜びです。

この広報誌を発行し始めてから、早や2年半が過ぎようとしています。今までに、病気や院内部門の紹介、時期折々のトピックスなど、多くの情報を院内外に公開してきました。今年も紙面をとおして病院の新しい情報「ほやほや」を発信していきますので、昨年同様の温かいご支援をお願い申し上げます。

末尾ながら、この1年、地域の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



特集

移植医療について

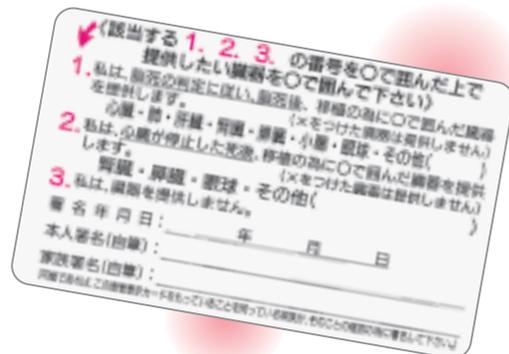
輸血センター・内科 神谷健一

謹賀新年 本年が良い年となりますよう祈念しております。

臓器提供意思表示カード（下参考）を御存知でしょうか。「心臓や肺、肝臓、腎臓、角膜（眼）、小腸、脾臓などを重い病気の方に提供します」という意思表示したカードです。もちろん、御自分が亡くなった時に、そして提供された臓器は他人の中で働き続けます。ここには、『自分の体を他人のために』という高貴な精神があふれ、まさに移植医療が『いのちの贈り物』といわれる所以です。最も美しい医療の形と思います。しかし残念ながら、日本では不幸な出来事のために移植医療の普及があまりにも遅れました。そのため移植によってしか救われない重症の方たちは移植医療を受けるために外国まで行かなければならないような事態になってしまいました。このような状況に対して少しずつ反省が生まれました。その後次第に多くの人々に移植医療の必要性が理解され、ついには「臓器の移植に関する法律」（1997年）の成立により日本でも脳死移植が認められ移植医療が広がろうとしています。そして臓器提供意思表示カードの登場となったわけです。



ところが、もっと以前から実際には日本の多くの方が病気の人々を思いやり自分の体の一部を提供することにより助けていたのではないのでしょうか。それは献血という行為です。血液を他人のために提供することも『いのちの贈り物』のひとつと思います。最近では成分献血と同じようにして血液を作り出す血液細胞（血液幹細胞）を御提供頂き治療を行うこともあります。これを血液幹細胞移植と呼びます。血液幹細胞移植が上記の臓器移植療法と異なる点は、自分を救うためにも行われること（自己血液幹細胞移植）です。また、提供して頂いた方は自然と回復するので提供者（ドナー）は直ぐに社会生活に戻れることです。さらに、ドナーが他人の場合（同種血液幹細胞移植）には移植により受血者（レシピエント）の血液がドナーの血液に置き換わり造血能が回復しますが、その際ドナーの血液中の免疫細胞（リンパ球）がレシピエントのがん細胞等を攻撃することも知られています。このように血液幹細胞移植によって白血病、悪性リンパ腫、再生不良性貧血などのかつては不治の病と言われた病気が治癒するようになっていきます。



部門紹介 『輸血センター』 紹介 輸血センター・内科 神谷健一

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

輸血センターは平成14年8月に誕生した新しい組織です。スタッフは総勢4人と小さいのですが、輸血に関する業務をすべて一括して行うことを目的にしています。業務は輸血製剤（血液）の管理と輸血検査、輸血情報の保存があります。今日の医療には輸血は欠くことのできないものになっています。大怪我や病気による出血、血液が作れない病気などで輸血が行われています。当病院では実に年間約29,000単位（1単位は200mlの血液に相当します）の輸血



がなされており、県内では取り扱いが最大となっています。また、自己血輸血（自分の血液を手術前に貯えておき、必要時に輸血する）は年間50件近くになっています。そのため、輸血の管理には電子カルテに対応したコンピュータ支援輸血システムを導入し、輸血製剤（血液）の管理を厳重に行っています。これら製剤は輸血されるまでの期



間、コンピュータによる24時間連続監視の状態を高精度の品質管理がなされて輸血センターに保管されます。輸血に先立っては専門技師の手による検査と機器による二重の検査を行い、輸血適合性を確認しています。この結果は、上記輸血システムに保存されます。輸血時に受血者リストバンドと血液製剤番号を電子カルテにて適合確認を行うことにより、検査で適合が確認された血液のみが輸血される仕組みになっています。

輸血用の血液は現在のところ善意の献血によって提供されており、貴重な血液は有効かつ大切に使用することが求められています。当センターでは血液の適正使用を院内に徹底させるとともに輸血時のデータの蓄積や分析を行い、より一層の適正使用を推進し、血液製剤を適正にかつ安全に使用されるように日々努力を続けています。

今後は更に細胞移植療法にも取り組む予定で、具体的には造血幹細胞移植（血液幹細胞は血液を作り出す血液細胞）の際の血液幹細胞採取や保存などを行い、難治性疾患の治療の一助になるよう協力していきます。

あなたの助けを待っています

～ボランティア募集～

福井赤十字病院では、通院や入院の患者様、病院へ来院する人のためのボランティアをしていただける方の募集を行っております。

活動内容は車イス移動の介助、各外来や再来受付機等の案内、小さなお子さんの話し相手、衛生材料作り（おしぼり作り）等となります。



あなただから出来ること。あたたかい心を少しだけ分けて下さい。
あなたの優しい力を待っている人がいます。



お申込・お問合せは
福井赤十字病院 医療社会事業課
0776-36-3630（内線6331）
吉田まで

行事予定

●家庭看護法介助員養成講習

日 時：2月5日（土）・12日（土）・19日（土）・26日（土）
9：00～15：30
会 場：日本赤十字社福井県支部
教材費：1,000円

●救急法救急員養成講習

日 時：3月1日（火）・2日（水）・3日（木）
9：00～17：00
会 場：日本赤十字社福井県支部
教材費：3,000円

申し込み先：日本赤十字社福井県支部 TEL.0776-36-3640 FAX.0776-34-6299

トピックス Topics

11・12月の病院の行事



防災訓練



11月10日に、秋の防火予防運動の一環として、福井地区南消防署、福井県防災航空隊と共同で防火訓練を行ないました。

訓練には地域住民の方々、病院内の養護学校の方々などの協力もあり約250名余りの参加者で行なわれました。

職員は、初期消火、避難誘導、避難患者救護などを行い、消防隊は、逃げ遅れ患者の救出、消火などの訓練を行ないました。

圧巻だったのは、レンジャー部隊による懸垂下降、梯子車での8階からの救出、ヘリコプターによる救出。『プロ』とはいえ、その機敏な活動と勇姿に思わず拍手。

この方たちがいれば、安心だと思いました。

私たち職員も、消防隊同様に地域の方々に安心を与える存在でありたいと、決意をあらたにした訓練でした。



クリスマス企画

♪コンサート♪

12月22日、仁愛高校合唱部の方たちによる、クリスマスコンサートが行なわれました。

今までは栄養棟3階の講堂で行なっていましたが、今年は本館の中央ホールで行いました。



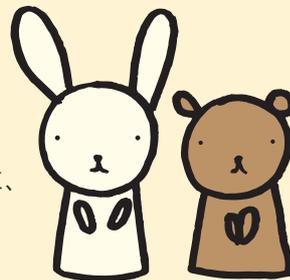
♪♪キャンドルサービス♪♪



12月24日、クリスマスイブには、看護師が聖歌を歌いながら、火のついたろうソクを持ち病棟を巡るキャンドルサービスが行なわれました。

この行事は、今年で49回目となる伝統的な行事です。

クリスマスを残念ながら病院で迎えることになってしまった患者さまに、少しでも安らぎを感じていただけたなら幸いです。



編集後記

この冬も暖冬と言われながら、毎朝寒い思いをしています。風邪をひかないように、体調管理には注意したいですね！

一年前は、新本館への準備で忙しかった事を思い出しますが、今は新しい環境にも慣れ、順調に仕事をしています。来院される皆様にも、より質の高い医療を提供できるよう、今後もがんばってまいりますので、宜しくお願いします。

(広報委員 H.Y)

★ご意見・ご感想は広報委員会事務局(総務課)まで

「ほやほや」第11号
2005.1発行 広報委員会

〒918-8501福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133
URL:<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
E-mail:webmaster@fukui-med.jrc.or.jp